つけましたか！ 住宅用火災警報器

あなた自身はもちろん、大切な **家族の命** を住宅火災から守るためです。
住宅火災による死者数は全国で１，０００人を超え、そのうち、約６割が逃げ遅れによるものです。
また、火災を早期に発見することで、初期消火や通報等が早まり、近隣への延焼被害も軽減します。

ついててよかった住宅用火災警報器

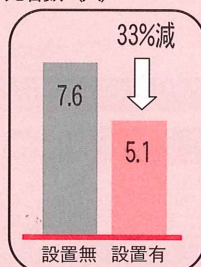
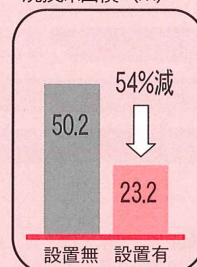
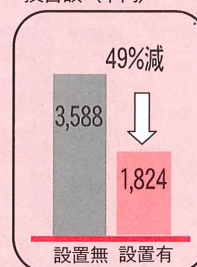
事例１　ガスコンロに両手鍋をかけたまま外出。
住宅用火災警報器の警報音に隣人が気づき、１１９番通報し大事に至らなかったもの。

事例２　ガスコンロに両手鍋をかけたまま寝込んでしまったが、住宅用火災警報器の警報音と臭いに隣人が気づき、１１９番通報し大事に至らなかったもの。

住宅用火災警報器の効果

平成２０年から平成２２年までの３年間における、失火を原因とした住宅火災４２，０４２件について、火災報告を基に住宅用火災警報器の効果を分析したところ、設置されている方が、被害は概ね半減するという結果となりました。

（総務省消防庁資料による）

住宅火災１００件当りの死者数（人）

住宅火災１件当りの焼損床面積（㎡）

住宅火災１件当りの損害額（千円）

住宅用火災警報器を設置した後は？

住宅用火災警報器は、命を守る大切な機器です。「いざ」という時にきちんと作動するように、日頃からお手入れや点検をしましょう。

点検方法

正常に作動するか、月に1回点検しましょう。
点検は、ボタンを押したり、ひもがついているタイプのものは、ひもを引いて行えます。詳しくは製品の取扱説明書をご覧ください。

例
テストボタンを押す

お手入れは

警報器にホコリが付くと煙や熱を感知しにくくなります。日頃から乾いた布で拭くなどお手入れをしましょう。

※　住宅用火災警報器の設置状況について、消防職員が各家庭を訪問することがありますので、ご協力をお願いします。
なお、消防職員が販売・斡旋をすることはありません。悪質な訪問販売にはご注意ください。